

前回の政策評価部会で議論された論点に対するご意見
(長崎委員)

- ・国際展開の最初の項目で、「これに対して、国はどうあるべきか。」は、おかしいのでは？元来は、各メーカの国際戦略で考えるべきことでは？
- ・国際展開の中で、保障措置技術・核不拡散対応技術は世界に誇れるものがあると思いますが、そういう点をどのように売り込んでいくのかも重要かもしれない、とは考えます。
- ・再処理の論点ですが、主語は何でしょうか？誰が責任を持ってということが重要では。
- ・炉の方では、電気事業者やメーカの育成ということを感じる文面ですが、サイクルの方では、事業者やサイクル関係メーカの育成ということを感じない文章になっているように思われます。
- ・2010年頃から議論を開始すると基本的考え方に記載されていることに対応する論点がないのでは。炉の国際展開のところで指摘されている論点とも関係しているのでしょうか、炉とサイクルが完全に分断されている？だから「我が国メーカーは単独では商機を失することになる」ということなのかもしれません。
- ・ウラン資源ですが、ウランだけ？ Zrほかの資源は？